

PROFILE

1944年生まれ。函館市出身。子ども3人、孫10人。

年を重ねた分ある
存在価値
ありのままの自分を
発信したい

—星野さんが編集長を務める『ようこそ！ じーばーず café へ』は、どのような情報紙ですか。

星野 主にシニア向けの情報を扱っている無料の季刊紙です。幅広い世代で活躍する方々を紹介することで、高齢者と若者の集いの場を作ることが目的としています。

—このような情報紙を作ろうと思った理由を教えてください。

星野 私自身が高齢者と呼ばれる年齢になった時から、あらためて社会

の高齢化の問題を実感し始めました。また、それに伴う若者の苦勞にも気づきました。そして、これからは高齢者と若者が互いに歩み寄り、助けあうことが大切だと思いました。私自身、孫が10人いる高齢者(と思われる立場)だからこそ言えることを、熱意を持って伝えたいという意識がそれを後押ししました。

—これからの目標、活動のモットーを教えてください。

星野 高齢者の定義を変えることです。以前から高齢者という表現に違和感を抱いていました。高齢者とひとまとめに言われ、そのことに妥協している方もいらっしゃいますが、実際は皆さんとてもお元気です。誰もが同じように年齢で区切られるのではなく、自分の意思で活動でき、またそれを受け入れる社会であってほしいと思います。また、年を重ねても、その重ねた分の存在価値があ

2011年	2007年	1997年	1978年	1976年	1974年	1968年	1967年
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

輝きの軌跡

星野菊子さんの
キャリアストーリー

池坊お茶の水学院を卒業。劇団制作に携わる
映画製作会社に入社と同時に結婚
第1子出産
第2子出産。
夫の故郷である植木に住まいを移す
第3子出産。
自営業で庭園風の釣り堀を経営
水前寺でオムライス専門のカフェを経営
お孫さんの世話のため店を閉める
『ようこそ！ じーばーず café へ』創刊

ようこそ！ じーばーず café へ
熊本市中央区東子銅町3-13-1
TEL : 096-346-1207
E-mail : 12512jibazu@keb.biglobe.ne.jp



取材担当
尚綱大学短期大学部 1年
佐藤佳蓮

るということを、ありのままの感性で発信していきたいと考えています。春から、空き家を活用して若者を迎え入れる「ばあちゃん家(げ)」を作る計画があります。

—女子学生に向けてのアドバイスをお願いします。

星野 人との関わりの中で個性を大事にしてください。社会に出たら、目上の人を立てながら自身の表現方法を工夫してください。それには、自分の意思を全面的に表すのではな

く、相手の話を聞き入れた後に自分の主張を行う謙虚さが大切です。やりたいことに対しては熱意が一番ですね。

個性は大事ですが、表現の仕方が難しいものです。集団の中での個性の表現方法を学んでください。

